

城西大学水田記念図書館 図書館・学長室学務課（研究支援）共催 研究倫理講演会（著作権も含めて）

## 「研究と論文と不正」

日時：2022年12月14日（水）15:10～16:40

会場：オンライン（Zoom）

講師：時実象一先生（東京大学大学院高等客員研究員）

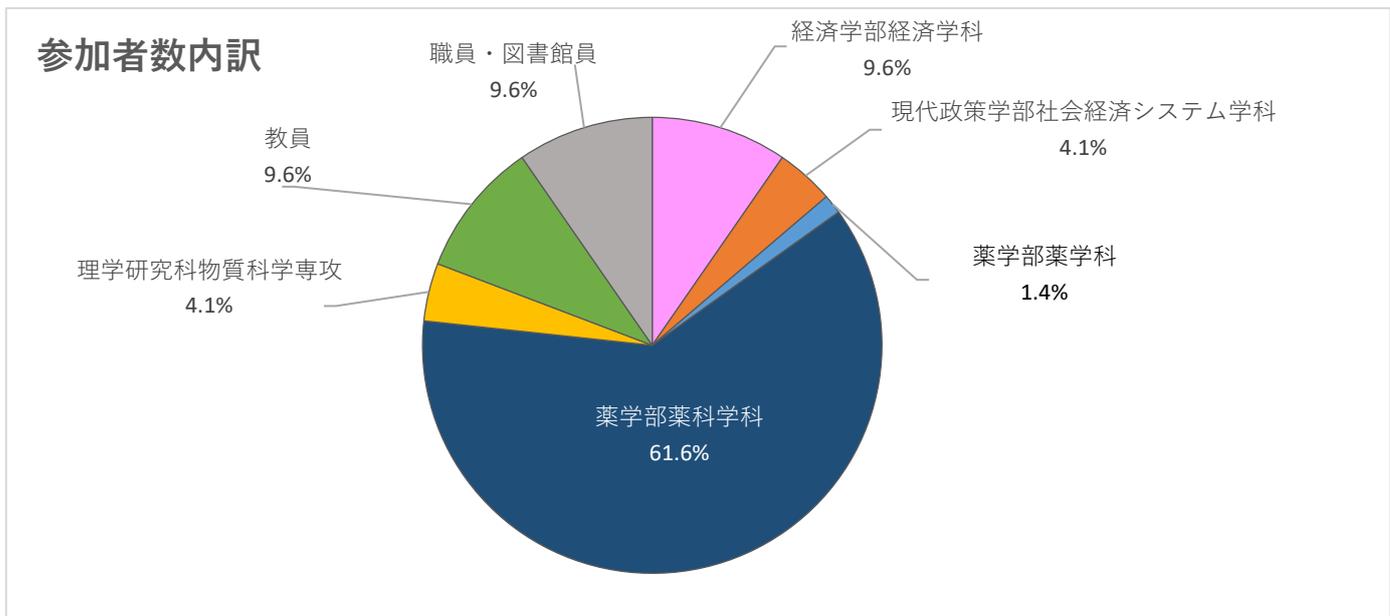
参加者数：73名 アンケート回答者：57名（回収率 = 78.0%）

薬学部薬科学科「実習F」授業との連携で実施

### 参加者数内訳

単位（人）

経済学部経済学科	7
現代政策学部社会経済システム学科	3
薬学部薬学科	1
薬学部薬科学科	45
理学研究科物質科学専攻	3
教員	7
職員・図書館員	7
合計	73

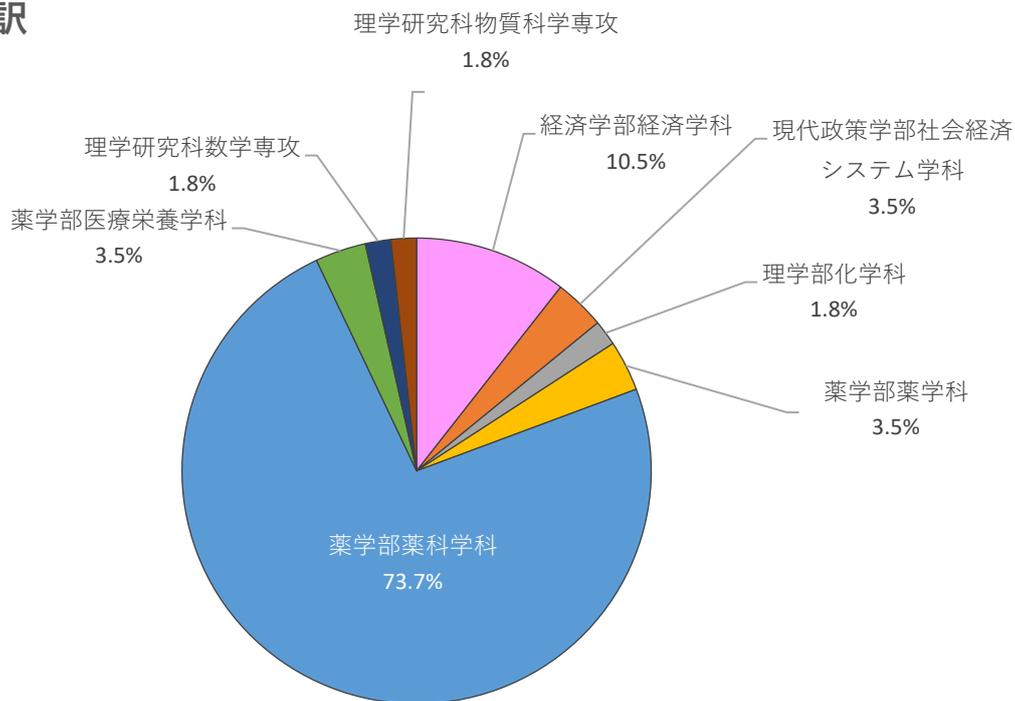


## 回答者数内訳

単位（人）

	2年	3年	4年	5年	教員	合計
経済学部経済学科	1	0	5	0	0	6
現代政策学部社会経済システム学科	0	1	1	0	0	2
理学部化学科	0	0	0	0	1	1
薬学部薬学科	0	0	0	1	1	2
薬学部薬科学科	0	40	0	0	2	42
薬学部医療栄養学科	0	0	0	0	2	2
理学研究科数学専攻	1	0	0	0	0	1
理学研究科物質科学専攻	1	0	0	0	0	1
合計	3	41	6	1	6	57

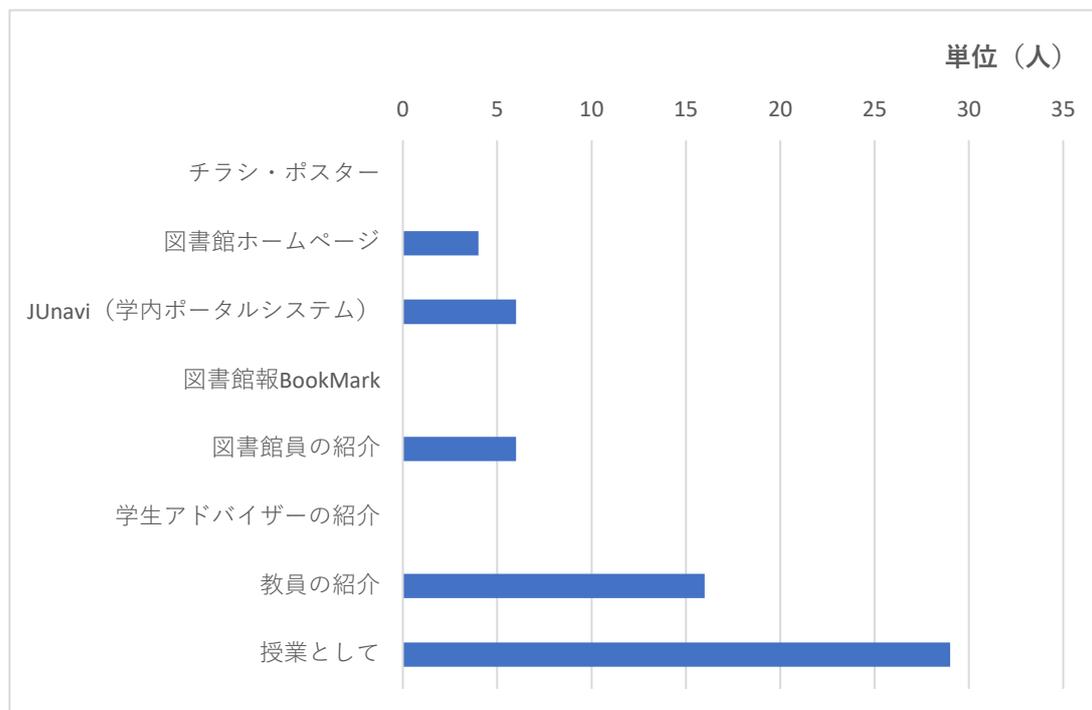
## 回答者数内訳



1) 今回の講演会を何で知りましたか？（複数回答可）

単位（人）

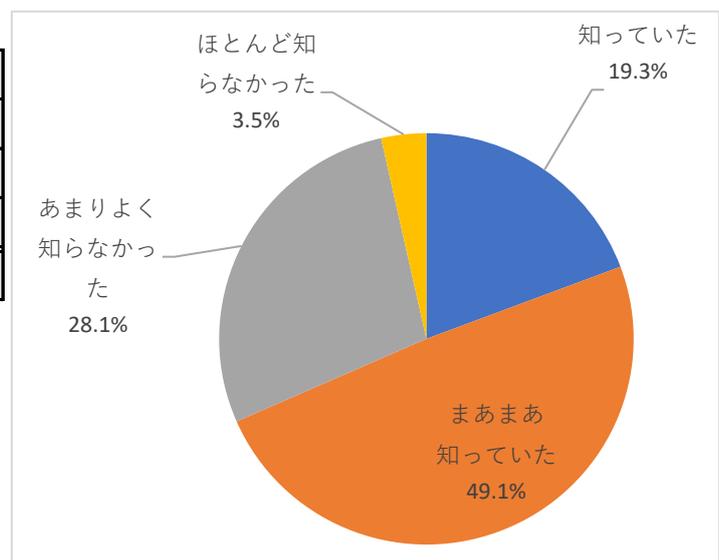
チラシ・ポスター	0
図書館ホームページ	4
JUnavi（学内ポータルシステム）	6
図書館報BookMark	0
図書館員の紹介	6
学生アドバイザーの紹介	0
教員の紹介	16
授業として	29



2) 今回の講演を聴く前に、研究倫理・著作権・剽窃についてどの程度知っていましたか？

単位（人）

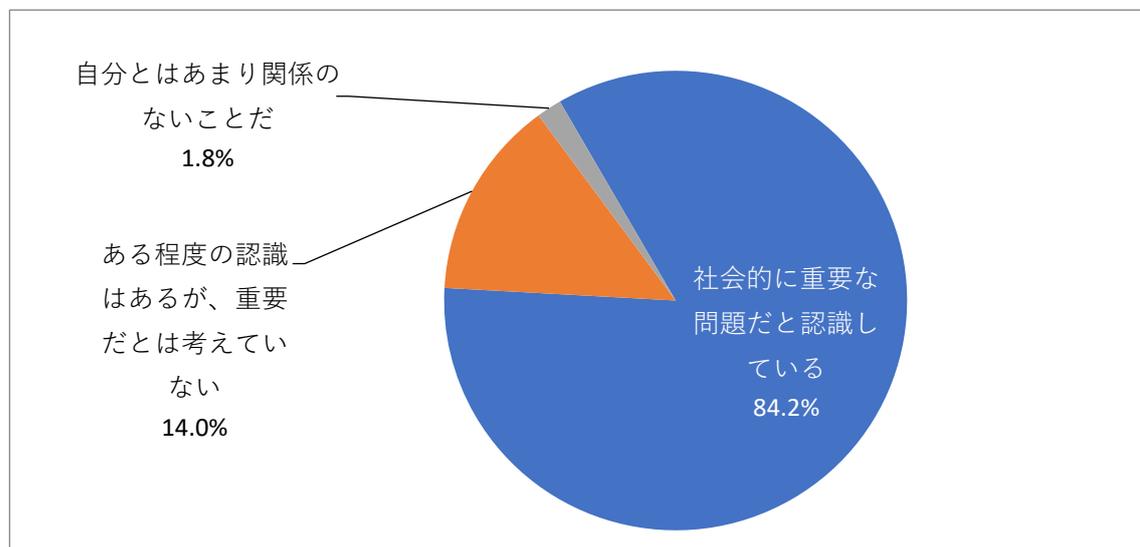
知っていた	11
まあまあ知っていた	28
あまりよく知らなかった	16
ほとんど知らなかった	2
合計	57



3) 論文執筆に係わる剽窃等が社会的な問題となっていることについて、どのような意識を持っていますか？ 最も近いと思うものをひとつ選んでください

単位 (人)

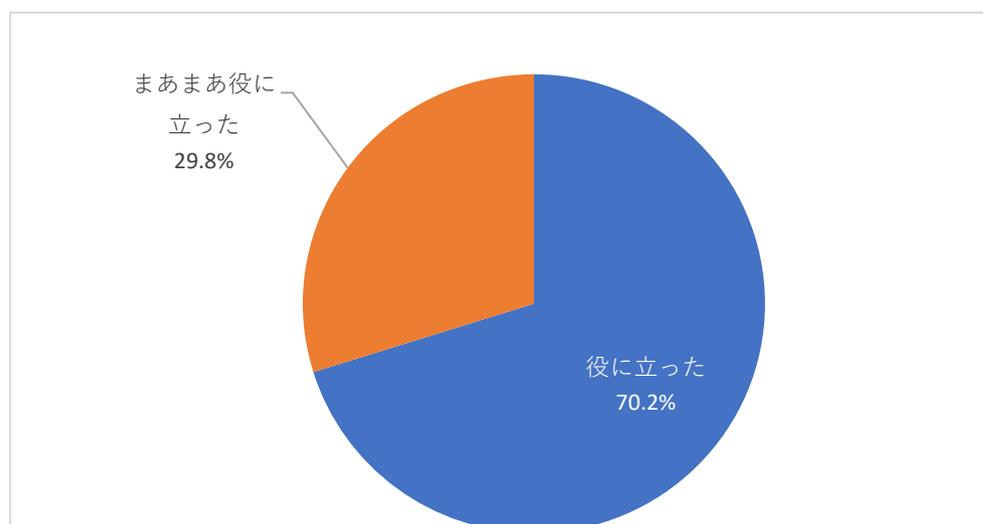
社会的に重要な問題だと認識している	48
ある程度の認識はあるが、重要だとは考えていない	8
自分とはあまり関係のないことだ	1
まったく意識や関心をもっていない	0
合計	57



4) 今回の講演会は役に立ちましたか？

単位 (人)

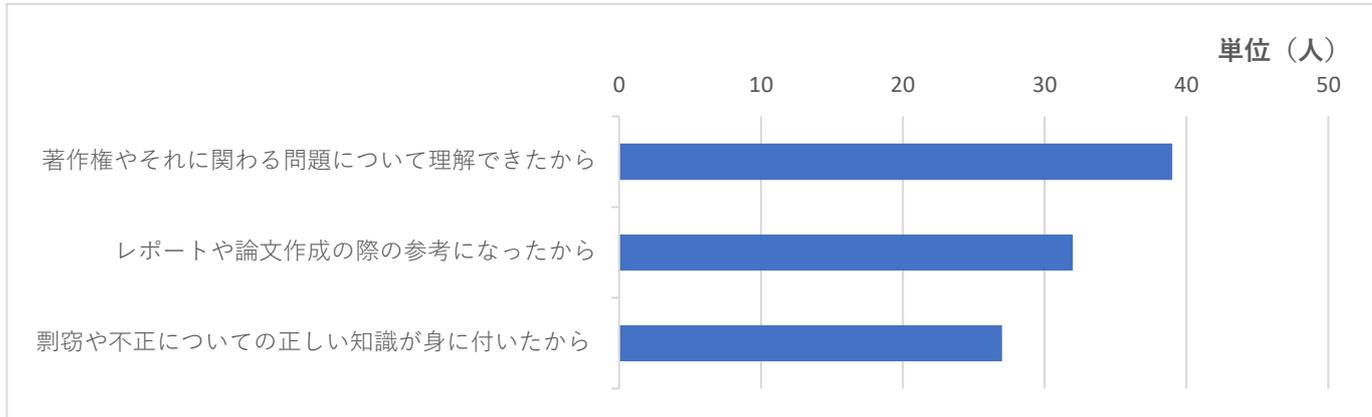
役に立った	40
まあまあ役に立った	17
あまり役に立たなかった	0
役に立たなかった	0
合計	57



## 4)-1 「役に立った」「まあまあ役に立った」を選んだ理由は何ですか？（複数回答可）

単位（人）

著作権やそれに関わる問題について理解できたから	39
レポートや論文作成の際の参考になったから	32
剽窃や不正についての正しい知識が身に付いたから	27



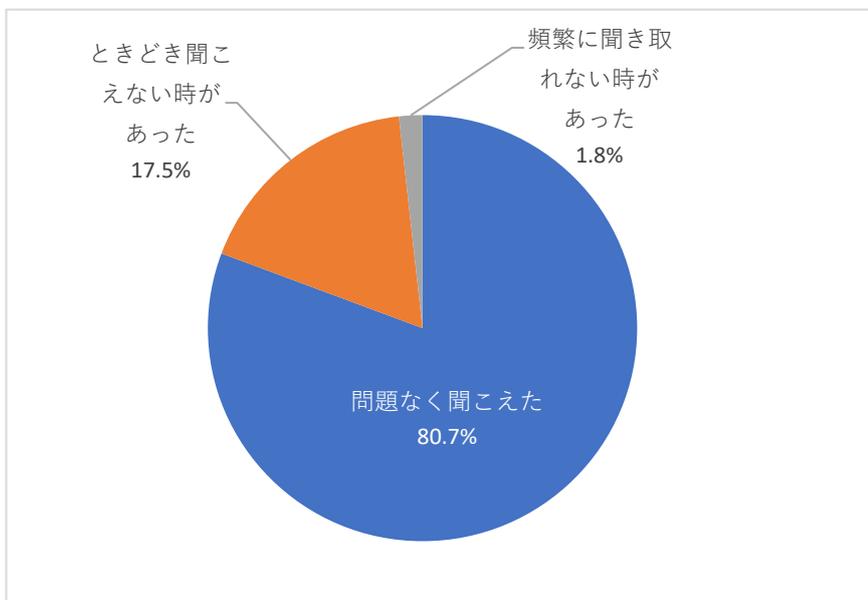
## 4)-2 「あまり役に立たなかった」「役に立たなかった」を選んだ方は、理由があればお書きください

回答なし

## 5) オンラインでの音声は聞き取りやすかったですか？

単位（人）

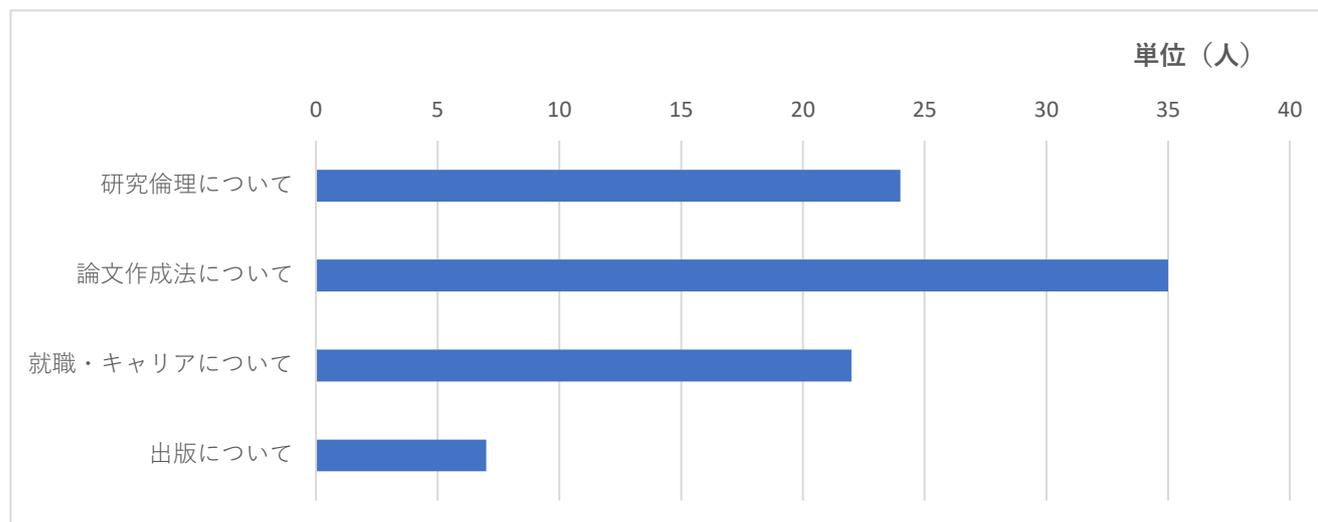
問題なく聞こえた	46
ときどき聞こえない時があった	10
頻繁に聞き取れない時があった	1
まったく聞き取れなかった	0
合計	57



## 6) 今後、図書館のどのような講演会・講習会に参加してみたいですか？（複数回答可）

単位（人）

研究倫理について	24
論文作成法について	35
就職・キャリアについて	22
出版について	7



## 7) 今回の講演に関して、ご意見・ご感想をお書きください

とても勉強になる講義でした。（5件）
わかりやすくとても良かったです。（2件）
データの改ざんは多く耳にすることは有るが、例として出たものを見ることで具体性を得ることが出来た。
とても興味深い内容でした。
ニュースなどで聞いて知っていたけれど詳しくは知らなかったことについて今回こうして詳しくお話を聞くことができとても貴重な経験となりました。ありがとうございました。
基礎的な概要から事例をもとに剽窃等を知ることが出来た。卒業論文の作成に活かしていきたいです。
研究倫理やコピー盗作についてよく知ることができたので良かったです。
今回の講演であまり知らなかったことも知れたので良かったと思っています。
今後の論文作成などに役立てていきたいです。
実際の歴史的事件を知れたことで、不正の重要性を改めて感じた。
論文の作成、レポートの作成時の、グラフや画像の問題点や注意点は、初めて知った部分もあった。注意して論文作成を行いたい。
普段は、あまり聞く機会がないので図書館主催で行われると、参加しやすいです。
理科学研究・指導（特に実験系）における日々の学生の実験研究における不正、虚偽報告（不勉強や怠慢なども含めて）を早期に発見するために効果的な手段についての具体的な実施事例を拝聴したいです。
論文を書く時の注意点など詳しく知ることができて良かった。